

### 子ども・若者の居場所について

佐藤 剛 議員

子ども・若者の居場所づくりへの市の見解を伺います。

今年度策定を進めていることも計画において、中学生などが安心して過ごせる居場所を提供するため、基本方針の一つとして社会全体で子ども、若者を支えるための環境

の整備を掲げ、遊び場の確保や居場所づくりに係る施策を位置づけています。

中学生に特化した居場所づくりの促進に向けた市の見解を伺います。

中学生の多くは、学校が居場所の一つとなっています

### 市内に於けるPFAS等の検出状況と海上自衛隊下総航空基地との関連性について

津久井 清 氏 議員

下総教育航空群司令からPFAS等に関する水質調査を実施するとの通知がありましたが、土壌調査も行うよう市から要望することについての見解を伺います。

原因究明には土壌調査を含め様々な調査が必要となるため、千葉県、柏市、白井市

とも連携して、引き続き要望等も検討していきます。

血液検査の希望者への対応について伺います。

近隣の医療機関において血液検査の可否に関し、最終的な調整後、速やかに実施していきます。

市内にて暫定基準値の80

### 市民の防災に対する意識を高める取組について

水町 元 大 議員

市民の防災意識を高める取組及び課題を伺います。

防災意識を高めるため、総合防災訓練や防災講話等を通じ、啓発活動を実施していますが、市民意識調査では、多くの方が防災対策への関心が高いものの自主防災活動への参加が少ないため、地域防災力の向上が課題です。

現在実施している防災教育の概要と課題を伺います。

避難訓練や訓練前後の学習を通じ、防災における自助共助の育成に取り組んでいきます。地域とのつながりが希薄

### 後期基本計画策定方針について

小易 和 彦 議員

後期基本計画策定にあたり市民の参画やニーズをどのように反映していきますか。

市民意識調査に加え、小・中・高校生やファイターズファン、市内事業者へのアンケートや聞き取りの他、ライブステージやグループ別のヒアリング、私の好きな鎌ヶ谷絵

画写真展の実施を予定しています。さらに、有識者や市民などで構成する総合基本計画審議会への諮問により幅広い市民の声を計画に反映し、誰もが住みやすいと感じるまちづくりを進めていきます。

計画策定に向けた今後のスケジュールを伺います。

が、学校以外も中学生が過ごす場所、時間、人との関係性の全てが居場所になり得るため、遊びや学習など、多様な活動の場が求められています。市でも、中学生の視点に立ち様々な声を聞きながら居場所づくりを進めていく必要がある。今後とも全国の自治体の事例などを参考に継続して事業を推進していきます。

倍となる4万2千ナノグラムPFAS等が検出されましたが今後の対応を市長に伺います。

飲用水の確保、血液検査の費用助成は実施しており、今後は、上水道敷設等が必要ですが、原因究明等には、本市単独では限界があるため、国や千葉県にも支援を求めるなど、地域住民の不安の解消のため全力で取り組みます。

今後の防災意識の向上を目的とした取組を伺います。

現在の取組と併せ、地域防災リーダー研修を通じて地域の人材育成に取り組むことで、さらなる地域防災力の向上を目指します。

令和7年度から2か年をかけて策定します。主な内容は、令和7年度は基礎調査の実施、後期基本計画策定要領の策定、庁内の部門別会議などにより計画内容の検討を行い、令和8年度は、パブリックコメントの実施や総合基本計画審議会への諮問と並行して第2次実施計画の策定を行う予定です。

### 北千葉道路の鎌ヶ谷市民にとっての便益について

伊藤 仁 議員

北千葉道路が高架構造で整備されると県道船橋我孫子線が直進できなくなるため、市内を南北方向に抜ける車両の多くは県道船橋我孫子バイパス線を通行することになります。この県道船橋我孫子バイパス線は、現在でも新京成線の高架下付近が日常的に渋滞していますが、さらに渋滞がひどくなると考えられ、多くの車両は裏道を使って市内を抜けていくことになると思

われま。このような車両の流れが予測できませんが、市は北千葉道路が整備された後の周辺交通量をどのように予測しているのか伺います。

北千葉道路が整備された後の周辺交通量について、これまで市では調査等は実施していません。また、国や千葉県からも具体的な交通量の予測結果等について、今まで報告を受けたことはありません。

### 道野辺小学校の通学路の安全対策について

矢崎 悟 議員

児童の通学路として利用されている手通公園では、これまで複数の不審者情報が確認されており、昨年9月会議の一般質問で、同公園内への防犯カメラの追加設置を求めましたが、防犯や安全への取組について伺います。

令和2年度は園路の7基の照明灯のLED化やフェンスの更新、令和3年度は学校付近に1基の防犯カメラの設置、令和5年度は園路改修を行いました。今年度は南側の進入路付近に監視カメラを1基増設したほか、不審者情報を受け、手通公園から道野辺小学校へと通じる階段を登ったところと学校の入口部分が映るよう学校敷地内に防犯カメラを設置しました。



手通公園

### 議会だよりについて

お気づきの点などございましたら、電話や、ホームページのお問い合わせメールフォームからお知らせください。いただいた貴重なご意見等は、今後の議会だより作成の参考とさせていただきます。

### 本市のごみ処理行政について

徳野 涼 議員

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合脱退に関する柏市との協議状況を伺います。

平成30年に柏市からごみの共同処理の解消を前提とした協議の申入れがあり、現在までに計10回の会議を行っています。

共同処理が解消され、本市独自のクリーンセンターを運用した場合、財政に与える影響を伺います。

燃料費の高騰、物価変動等を踏まえ、令和6年度予算ベースで試算すると4億円を超える負担が生じるのではと考えています。

今後の近隣他市との共同

### 視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の設置について

河内 一朗 議員

初富駅前点字ブロックが車止めを回り込む形で設置された経緯を伺います。

新京成線連続立体交差事業に伴い、高架下付近で東西方向に歩行者用通路と自転車用通路の整備を行いました。歩行者用通路は、歩行者の安全

全確保のため、通路入り口付近に2基の車止めを千鳥状に配置し、自転車等の侵入を防止していることから、点字ブロックは車止めを回り込む形で設置しています。

視覚障がい者にとって危険な点字ブロックの設置箇所

### 子宮がん対策の推進について

富田 信恵 議員

HPVワクチン接種の積極的勧奨の再開に伴い、中学校入学時でのワクチン接種説明会の再開予定を伺います。

新型コロナウイルス感染症の法的措置付けの変更に伴い、対面での情報提供の再開について調整していきます。

国厚生科学審議会において、キャッチアップ期間に

キャッチアップ接種対象者(※4)の接種需要が高まり供給量に影響が出たことにより本市でもワクチン接種が制限されましたが、今後の対応を伺います。

国の厚生科学審議会において、キャッチアップ期間に

### 有機フッ素化合物(PFOs/PFOA)について

松原 美子 議員

小中学校の飲用水に関する有機フッ素化合物の検査状況を伺います。

市内小中学校の飲用水はすべて千葉県企業局が供給している水道水を利用しています。千葉県による有機フッ素化合物の検査では、暫定目標値を超える値は検出されていません。なお、小中学校14校のうち6校の敷地内には、耐震性貯水槽を設置し、災害時には避難者などに飲用として井戸水を供給することから、11月下旬に実施した有機フッ素化合物の定期検査時には、これらも検査し、1月上旬には結果が出る予定です。

多くの学校で水道水を利用していますが、一部では井戸水を利用しています。井戸水の検査は、飲用または飲用に供する予定のものを優先し、飲用に供さない井戸水の検査は、令和7年度以降に予定しています。

処理の見解を伺います。

令和6年3月に国から各知事宛てに、ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化についての通知があり、今後県内でもごみ処理施設の集約化を目指すことになりましたが現時点では、本市も含め、近隣各自治体間で具体的な協議が行われていないため、何か述べるような状況には至っていません。

今後の対策を伺います。

車止めや点字ブロックの視認性を高めることなど具体的な方法を視覚障がい者の関係団体等と協議しながら検討していきます。また、今後新たに点字ブロックの設置を伴う通路等の整備を行う際には、注意喚起も含めて事前に関係団体等のご意見を伺うなど、対応を検討していきます。

おける1回以上のワクチン接種者は、令和7年3月末までに公費で3回の接種を完了できるようにするべきとの見解が示されたため、この期間に1回以上接種したキャッチアップ接種対象者や高校1年相当の女子には、最長1年間公費による接種が可能と見込んでいます。国の動向を注視し、適切に対応していきます。

小中学校の運動場などに散水している水の安全性を伺います。

多くの学校で水道水を利用していますが、一部では井戸水を利用しています。井戸水の検査は、飲用または飲用に供する予定のものを優先し、飲用に供さない井戸水の検査は、令和7年度以降に予定しています。

(※4) キャッチアップ接種対象者：積極的接種勧奨が差し控えられた間に接種の対象であった平成9年4月2日から平成18年4月1日までの間に生まれた女子